

公表日 2025年 1月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 川崎港町教室

保護者等数(児童数) 31(36)名 回収数27件(割合87%)

| | | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|----|---|----|---------------|-----|-------|--|---|
| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 20 | 5 | 0 | 2 | ・少し手狭ですが近くに公園があって補えていると思う。 | ・広いとは言えない室内ですが、スペースを有効に活用できるように活動を工夫してまいります。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 5 | | ・今後もご満足いただけるように適切な人数で支援してまいります。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 5 | | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | 23 | 1 | 0 | 3 | ・自分の子どもが活動しているところを見ることがないので分かりません。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| 適切 な支 援の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 26 | 0 | 0 | 1 | ・得意不得意を保護者と同じくらい理解して、子どもの可能性を引き出して頂いています。 ・見学できる機会がほしいです。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 ・ご見学については色々なお子さんがご利用になっているため積極的には行っておりません。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 25 | 0 | 0 | 2 | | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 27 | 0 | 0 | 0 | ・面談を行い支援計画を練ってくれる。 ・子どもの課題やできている所をのぼす関わりを考えて下さっています。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 25 | 1 | 0 | 1 | ・兄弟のいない我が家にとって進級就学が未知の世界ですが、目の前の困りごとと併せて将来を見据えた目標や課題を上手く組み込んで支援して頂いています。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 27 | 0 | 0 | 0 | | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 26 | 1 | 0 | 0 | ・好きなことと苦手なことが上手くミックスされていてバランスが良いと思います。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 11 | 3 | 3 | 10 | | ・子どもの特性や必要性を鑑みて積極的に行っていますが、機会があれば検討してまいります。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 27 | 0 | 0 | 0 | | ・契約時に行っております。 |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 27 | 0 | 0 | 0 | ・半年に1回説明して頂き、子供の成長に合わせて支援計画して頂いています。 ・定期面談で丁寧に説明して下さいます。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 7 | 5 | 4 | 11 | | ・個別に対応しておりますが、研修会や情報交換の機会については検討してまいります。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 25 | 2 | 0 | 0 | ・いつどんな質問や相談をしても的確に対応して頂いています。 ・職員さん同士の情報共有が早いと感じます。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 24 | 3 | 0 | 0 | ・更新面談はもちろん、相談ごとが多い時は対面でお話しする時間も取って頂いています。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 24 | 2 | 0 | 1 | いつも保護者の困りごとに寄り添って支援して頂いています。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。 | 4 | 2 | 10 | 11 | ・多分そういうことは行ってない。 | ・父母会組織はございません。交流の機会についてはご希望に添えるよう検討してまいります。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 24 | 0 | 1 | 2 | ・相談事に対して子供の特性を考えながら、職員の方が工夫をして対応していただいていると感じています。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |

| | | | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 24 | 2 | 0 | 1 | | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 23 | 1 | 0 | 3 | | ・今後も新聞やInstagramでお子さんの様子を発信してまいります。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 25 | 0 | 1 | 1 | ・別の子の作品やノートが入っていることがありました。 | ・個人情報の取扱いについては今後も配慮してまいります。HUGシステムによる電子化で連絡帳の取り間違えも今後はないと思われれます。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 23 | 0 | 0 | 4 | | ・緊急時の対応は契約時にお伝えさせていただいております。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 22 | 0 | 0 | 5 | ・定期的に行っている。 ・定期的な避難訓練のプログラムで災害のことや具体的な避難方法が身につけています。 | ・今後も災害に備えて定期的に訓練を行ってまいります。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 25 | 0 | 0 | 1 | | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 22 | 1 | 0 | 4 | ・誤飲が疑われた際に速やかにご連絡頂き、かつ後日様子確認のご連絡も頂きありがとうございました。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 27 | 0 | 0 | 0 | ・分からない時や困っている時に先生に「助けて」と言ったら手伝ってくれるという安心感があるようです。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 24 | 3 | 0 | 0 | ・好きなプログラムの日があると、特に何日も前から楽しみにしています。 ・いつも帰宅後に「楽しかった」と言っています。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 27 | 0 | 0 | 0 | ・子どもへの専門的な支援、保護者のメンタルケア、どちらも大変安心感があり信頼できます。 | ・今後もご満足いただけるように支援してまいります。 |

公表日

2025 年 1 月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 川崎港町教室

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|---|----|-----|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 9 | 0 | ・個別学習の際はパーテーションを使用したり、遊ぶスペースを区切ったりしている。 | ・10人以上の活動には十分な広さとはいえない。 |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 7 | 2 | | ・今後も適切な配置を行っていく。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 9 | 0 | ・掲示物等を工夫している。 | ・バリアフリー化はされていないので車イスには対応していない。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | 1 | | ・定期的な換気の徹底や空気清浄機、CO2濃度測定計、熱中症指数計の導入があると良いと思う。 |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | 1 | ・必要に応じてスペースを区切り、全てのお子さんが活動できるように工夫している。 | ・個別の部屋がない。 |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 8 | 1 | ・朝礼やミーティングで情報を周知、改善を常に行っている。 | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | 1 | | ・アンケートをもとにフィードバックを行う。 |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | 1 | ・定期的な面談やカンファレンスを行っている。 | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 6 | | ・外部による第三者評価は行っていない。 |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | 3 | ・新人研修を行っている。 | ・救命講習やAEDの実践や緊急対応時の職員の動き(傷病者対応・通報・他児童の安全確保等)の訓練を検討している。 |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 9 | 0 | | ・アセスメント、カンファレンス、支援計画を今後も適切に行っていく。 |
| | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 9 | 0 | ・ミーティングやカンファレンス時に共有している。 | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8 | 1 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | 1 | ・児発管を中心に職員で意見交換を行った上で作成している。 | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 9 | 0 | ・季節感のあるプログラムや外出・製作等バランスよく子どもたちの飽きないプログラムになるよう工夫している。 | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | 1 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | 2 | ・送迎の都合で当日の振り返りの共有は難しいが、業務日報やSNS等で共有している。 | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | 3 | | ・セルフプランの児童しかいないので、サービス担当者会議はない。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | 4 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | 2 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | 2 | | ・必要があれば行っていく。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) | | | | |
| | | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | | | | |
| | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 6 | 2 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 3 | 6 | | ・子どもの適性を考慮し、積極的には行っていない。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | 1 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | 5 | | ・必要に応じて行っていく。 |
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | 1 | ・契約時に行っている。 | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 7 | | ・父母会は組織はない。交流の機会についてはご希望に添えるよう検討していく。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 9 | 0 | ・新聞やInstagram等で様子を発信している。予定等は公式LINEを使用して周知している。 | ・感染症の発生人数や日付けなどを、その都度保護者・職員に通知して欲しい。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 6 | | ・地域のお祭り等があれば参加している。 |
| | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 8 | 1 | | ・訓練等は行っているが、緊急時の引き渡し訓練は行っていない。普段送迎で顔を合わせる方以外で引き渡しの可能性のある方の顔がわからない。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | 1 | | ・今後も適切に行っていく。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|-----------------------|--|
| 非常時等の対応 | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 9 | 0 | ・指示書やエビペン所持の児童は現状はない。 | ・現在アレルギー除去が必要な子はいないが、ある場合は適切に行っていく。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8 | 1 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 8 | 1 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 9 | 0 | | ・今後も適切に行っていく。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 9 | 0 | | ・近年多く報道されている不適切保育のチェックリスト等も取り入れたり、言葉がけの見直し（強要になっていないか、からかいと捉えられるような事はないか）を必要に応じて行っていく。 |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 7 | 2 | | ・現状身体拘束の児童はいない |